

人権教育だより

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心

市川市立第三中学校

令和元年 7 月 1 9 日発行

(第 4 号)

原爆の日と終戦記念日

～戦争は最大の人権侵害～

1945年8月6日午前8時15分、米国の爆撃機が1機、広島市上空に現れ、小さいパラシュートを投下しました。これには原子爆弾が取り付けられていて、14万人を超える命が奪われました。爆心地では、ほぼ全員が即死し、大部分の建物が跡形もなく破壊されました。

その3日後の8月9日午前11時2分に、もう1つの原子爆弾が九州北西部に位置する長崎市に落とされました。このときは、爆弾によって市の3分の1が灰になりました。現在までに、7万人以上がこの原子爆弾の影響で亡くなっています。

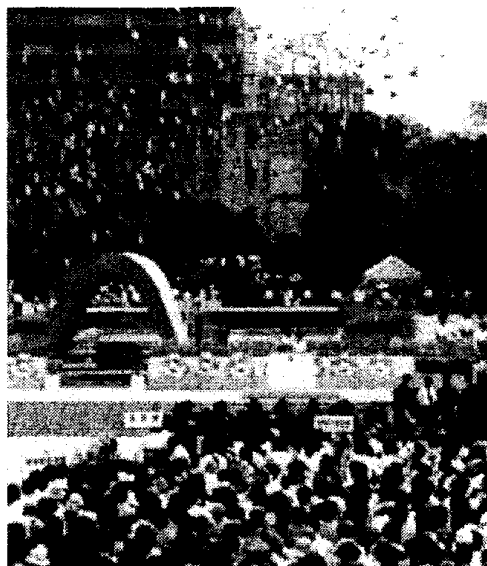
現在、広島と長崎の両方の爆心地は平和記念公園になっています。それぞれ8月6日と9日に、原子爆弾の犠牲者を悼み、永遠の平和を願う式典が各公園で行われます。2つの市の住民だけではなく、多くの日本人が、原子爆弾を投下された唯一の国の国民として、戦争と核兵器のない世界の実現を願っています。

第二次世界大戦は、原子爆弾が投下されてからわずか数日後の1945年8月15日に終わりました。日本は連合国によるポツダム宣言を受諾し、無条件降伏しました。日本が中国で戦闘を開始したのは1931年でした。1941年に日本はハワイの真珠湾にある米海軍に奇襲攻撃を行いました。

現在、8月15日は戦争で亡くなった人々を悼む日であり、日本中で式典が行われています。戦争は数え切れないほどの人の命を奪っただけではなく、関係国のあらゆる人々に影響を及ぼし、不幸にしました。このため、終戦記念日は戦争を経験した人が次の世代にこの悲劇的な記憶を伝え、このような愚かな行為を決して繰り返さないという決意を新たにする日でもあります。

戦争は最大の人権侵害を生み出しています。武力紛争は人類の歴史において深刻かつ大規模な人権侵害を引き起こしてきましたが、今でも、武力紛争によって、多くの罪もない人々が犠牲になっています。

毎年8月に平和祈念のつどいが行われます。戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを考え、世界平和について、考えてみましょう。



〔写真〕 広島平和記念公園
毎年、平和への願いを込めて
ハトが放されます。

外国人の人権を尊重しましょう

今日、我が国に入国する外国人は長期的に増える傾向にあります。こうした中、言語、宗教、文化、習慣等の違いから、外国人をめぐって様々な人権問題が発生しています。

例えば、外国人であることを理由に、アパートへの入居を拒否されたり、理容店において外国人であることを理由に理容サービスの提供を拒否されるといった事案が生じています。また、近時、都内等で行われたデモにおいて、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動が公然と行われていることが、マスコミ等によって「ヘイトスピーチ」（ヘイトスピーチに焦点を当てた啓発活動「ヘイトスピーチ、許さない。」）であるとして取り上げられている状況となっています。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を迎えることもあり、外国人と接する機会は今後益々増加することが予想されます。

法務省の人権擁護機関では、啓発活動重点事項として「外国人の人権を尊重しよう」を掲げ、年間を通じて、研修会の開催、啓発冊子等の配布等の啓発活動を行い、また、人権相談や調査救済活動に取り組んでいます。

夏休みに、海外や国内旅行に出かける人も多いと思いますが、外国人に対する偏見や差別をなくしていくため、文化等の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動をとるように、日頃から心がけておきましょう。

防ごう、児童虐待 ～子どもの人権を守ろう～

児童虐待とは、親または親に代わる保護者が、18歳に満たない子どもの身体や心を傷つけ、健やかな成長・発達を損う行為を言います。子どもに対するしつけやお仕置きなどは類似行為と思われますが、児童虐待は、子どもの心身の成長と人格形成に重大な影響を与えますので、早期に発見し対応することが必要です。

虐待が疑われる子どもの様子

不自然な傷や打撲のあと
着衣や髪の毛がいつも汚れている
表情が乏しい
おどおどしている
落ち着きがなく、乱暴になる
親を避けようとする
夜遅くまで一人で遊んでいる 等

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときには…

迷わず市川市役所・児童相談所などの関係機関に連絡（通告）してください。連絡（通告）した人の秘密は法律で守られます。